

報道機関各位

ピーマン栽培における環境制御を用いた増収技術と 新たな天敵を利用した害虫防除法の検討会を開催します



(いばらき農業アカデミー 令和5年度品目別先進農業技術講座)

茨城県のピーマンは、販売金額115億円（令和3年度）・生産面積539ha（令和4年度）と、いずれも日本一を誇ります。大産地である神栖市・鹿嶋市では、生産者の所得向上を目指して、ハウス内の温度や湿度などを測定して数値化し、生育環境を最適化する「環境制御技術」の普及が始まっています。

農業総合センター鹿島地帯特産指導所では、こうしたスマート農業技術の導入に対応し、生産効率をより一層向上させる栽培方法の開発に取り組んでいます。

このたび、増収効果が高い新たな整枝法「2本垣根仕立て（次項参照）」や、高温条件下で発生しやすい「日焼け果」の対策技術、害虫「アザミウマ類」の天敵「タバコカスミカメ」を用いた防除技術の研究状況を生産者等に紹介し、意見交換を行います。

つきましては、是非取材して頂きたいと、ご案内いたします。

【日 時】 令和6年2月27日（火）
13:30～15:30（受付開始13:00）

【場 所】 茨城県農業総合センター
鹿島地帯特産指導所 2F会議室
受付場所：1F通用口
（〒314-0133 茨城県神栖市息栖2815）

【参集範囲】 県内ピーマン生産者、JA、
市町村、県関係機関等 30名程度

【内 容】 1. 室内検討（13:30～15:00）
（1）2本垣根仕立てによる環境制御下での増収技術
（2）日焼け果の発生低減技術
2. ほ場検討（15:00～15:30）
（1）加温半促成栽培におけるタバコカスミカメによるアザミウマ類防除



環境制御下で増収効果が高い
ピーマン2本垣根仕立ての栽培風景



アザミウマ類防除への活用が
期待されるタバコカスミカメ

※雨天決行ですので、汚れても良い履物と雨具持参でお越しください。荒天の場合は中止することもありますので、事前に【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所

担当：高木・小川 TEL:0299-92-3637

FAX:0299-93-1340

e-mail: ta.ogawa@pref.ibaraki.lg.jp

「2本垣根仕立て」について

通常のピーマン栽培では一本の株から4本の主枝を出して栽培しますが、栽植本数を慣行の2倍とし（図1）、主枝の本数を2本にして垣根のように仕立てる栽培方法です（図2、3）。

一本の株から出す主枝を4本から2本とすると着果数が増え、樹勢が衰えやすくなりますが、環境制御により光合成を促進することで樹勢を維持して、増収を図ります。

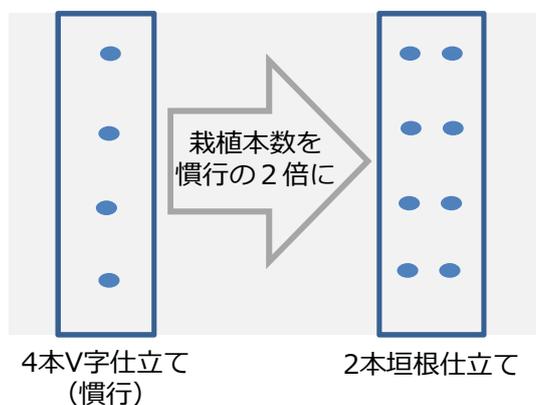


図1 栽植密度の違い

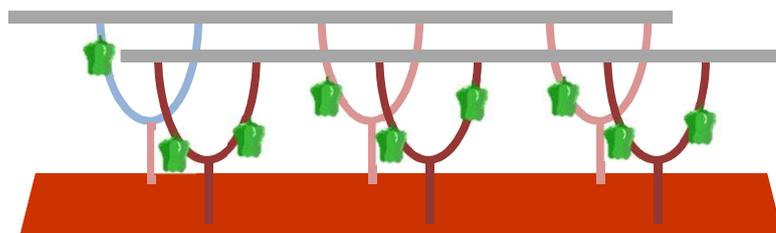


図2 2本垣根仕立ての整枝方法



4本V字仕立て (慣行)



2本垣根仕立て

図3 4本主枝仕立て（慣行）と2本垣根仕立ての栽植の様子（撮影日：2022年9月30日）